



第8回
子ども市議会



平成22年7月26日
開会

会

録

議



別府市議会議長

野口 哲男

子ども市議会を終えて

「第8回べっぷ子ども市議会」の開催に当たりまして、ご協力いただいた先生方、PTAの皆様、並びに市子連の皆様、そして、保護者の皆様、大変ありがとうございました。

今回の子ども市議会を通じて、私どもはいろいろなことを学ばせていただきました。そして、この純真な子どもたちにたくましく夢をかなえる力を備えていただきたいと心から熱望するものがあります。1年先、10年先、あるいは30年先の別府の未来を思い描いていただきたいと思います。

夢を持つということから明るい未来は開けてくれると思いますし、そのために私ども大人は夢をかなえられる社会を作っていかなければならないと、心を新たにしているところでございます。

どうか今後とも、子どもたちの幸せな環境づくりのため、なお一層のご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



別府市長

浜田 博

未来の夢と希望を担う子ども市議会

第8回を迎えました、小学生と中学生の議員による「べっぷ子ども市議会」は、明るい未来へ向けての提言と別府市発展に向けて心のこもった「別府と私たち」という宣言により、実り多き子ども市議会となりました。

自分たちの未来を広い視野で真剣に考え、夢と希望に向かって行動していく強い意志に感動するとともに、私たちは「ONSENツーリズム」のまちづくりを一層推進することにより、次世代の子どもたちのための笑顔あふれるまちづくりを進めていかなければならないと改めて認識いたしました。

「第8回べっぷ子ども市議会」の開催にご尽力いただきました先生方、保護者の方々、関係者の皆さまに心から感謝を申し上げますとともに、「べっぷ子ども市議会」のますますの発展をご期待申し上げます。

議長



大野 桃菜議員
(朝日中3年)

副議長



河野 幸正議員
(鶴見台中2年)

一般質問



木崎 晴崇議員
(青山小6年)



藤内 裕夢議員
(上人小6年)



松元 眞仁議員
(南小6年)



佐藤 康義議員
(西小6年)



加藤 春樹議員
(南立石小6年)



山口 萌議員
(東山小6年)



河野 稜佳議員
(石垣小6年)



堀 優香議員
(緑丘小6年)



平江 天希議員
(亀川小6年)



松本 美月議員
(春木川小6年)



伊藤 健太議員
(大平山小6年)



峰 桃花議員
(別府中央小6年)



古賀 華季議員
(朝日小6年)



小手川 雄紀議員
(境川小6年)



山形 莉沙議員
(鶴見小6年)

提 言

子ども宣言



國賽 遼河議員
(浜脇中2年)



安部 厚希議員
(東山中2年)



興田 航平議員
(中部中3年)

謝 辞



清末 有紀議員
(山の手中2年)



久知良 桃花議員
(北部中3年)



吉田 麻純議員
(青山中2年)

第8回「べっぷ子ども市議会」会議録 目次

・会期	1
・会期日程表	1
・子ども議員提出議案議決結果	1
・一般質問者一覧表	1
・提言者一覧表	3
・出席議員	5
・欠席議員	6
・説明のための出席者	6
・その他出席者	6
・議会事務局出席者	6
・議事日程（第1号）	7
・本日の会議に付した事件	7

[開 会 式] 目次

・開 会	9
・主催者紹介	9
・議長あいさつ—野口哲男議長	9
・閉 会	10
・子ども議長、子ども副議長紹介	10
・出席議員数の報告	11

○第1号（7月26日・月曜日）

・開 会	-----	11
・議席の指定	-----	11
・会議録署名議員の指名	-----	12
・会期の決定	-----	12
・一般質問	-----	12
	質問者・木 崎 晴 崇 議員	12
	答弁者・清 末 広 己 ONSENツurisム部長	13
	浜 田 博 市長	14
	質問者・藤 内 裕 夢 議員	14
	答弁者・寺 岡 悌 二 教育長	15
	浜 田 博 市長	15
	質問者・松 元 眞 仁 議員	16
	答弁者・清 末 広 己 ONSENツurisム部長	16
	浜 田 博 市長	17
	質問者・佐 藤 康 義 議員	18
	答弁者・清 末 広 己 ONSENツurisム部長	18
	浜 田 博 市長	19
	質問者・加 藤 春 樹 議員	20
	答弁者・寺 岡 悌 二 教育長	20
	浜 田 博 市長	21
	質問者・加 藤 春 樹 議員	21
	答弁者・浜 田 博 市長	21

質問者・山口 萌 議員	-----	22
答弁者・亀井京子 生活環境部長	-----	22
浜田 博 市長	-----	23
質問者・河野稜佳 議員	-----	23
答弁者・寺岡悌二 教育長	-----	24
浜田 博 市長	-----	25
(休憩・再開)	-----	25
質問者・堀 優香 議員	-----	25
答弁者・寺岡悌二 教育長	-----	26
浜田 博 市長	-----	26
質問者・平江天希 議員	-----	27
答弁者・亀井京子 生活環境部長	-----	28
浜田 博 市長	-----	28
質問者・平江天希 議員	-----	28
答弁者・浜田 博 市長	-----	29
質問者・松本美月 議員	-----	29
答弁者・亀井京子 生活環境部長	-----	29
浜田 博 市長	-----	30
質問者・伊藤健太 議員	-----	31
答弁者・寺岡悌二 教育長	-----	32
浜田 博 市長	-----	32

質問者・峰	桃	花	議員	-----	33		
答弁者・寺岡	梯	二	教育長	-----	33		
	浜田	博	市長	-----	34		
質問者・古賀	華	季	議員	-----	35		
答弁者・高橋	邦	洋	建設部長	-----	35		
	浜田	博	市長	-----	36		
質問者・小手川	雄	紀	議員	-----	37		
答弁者・藤内	宣	幸	福祉保健部長	-----	37		
	浜田	博	市長	-----	38		
質問者・山形	莉	沙	議員	-----	38		
答弁者・清末	広	己	ONSENツアーズ部長	---	39		
	浜田	博	市長	-----	40		
(休憩・再開)	-----				41		
・提言の発表	提言者・國	賽	遼	河	議員	-----	41
	答弁者・浜	田	博	市長	-----	42	
	提言者・安	部	厚	希	議員	-----	43
	答弁者・浜	田	博	市長	-----	43	
	提言者・清	末	有	紀	議員	-----	44
	答弁者・浜	田	博	市長	-----	45	

提言者・久知良 桃 花 議員	-----	45
答弁者・浜 田 博 市長	-----	46

・ 議員提出議案第 1 号子ども宣言について、上程	-----	46
・ 提案理由説明	-----興 田 航 平 議員-----	46
・ 表 決	-----	47
・ 閉 会	-----	48

[閉 会 式] 目 次

・ 開 会	-----	49
・ 市長あいさつ	-----浜 田 博 市長-----	49
・ 記念品の贈呈	-----寺 岡 悌 二 教育長-----	50
・ 子ども議員代表者謝辞	-----吉 田 麻 純 議員-----	50
・ 閉 会	-----	51

第8回「べっぷ子ども市議会」会議録

○会 期 平成22年7月26日(1日)

○会期日程表

平成22年7月26日(月) 本会議 議席の指定、会議録署名議員の指名、会期の決定、一般質問、提言、子ども議員提出議案第1号「子ども宣言について」

○子ども議員提出議案議決結果

子ども議員提出議案第1号「子ども宣言について」

平成22年7月26日 原案可決

○一般質問者一覧表

質問 順位	質 問 議 員	質 問 項 目
1	4番議員 青山小学校 木 崎 晴 崇	魚や貝がたくさん生息できるきれいな海にしてほしい
2	8番議員 上人小学校 藤 内 裕 夢	鬼の岩屋古墳の宣伝
3	2番議員 南小学校 松 元 眞 仁	南校区の温泉や路地裏がおすすめだが、今どこが人気か
4	3番議員 西小学校 佐 藤 康 義	市営温泉の設備改善

5	5番議員 南立石小学校 加藤春樹	文化や歴史を学ぶ場について
6	14番議員 東山小学校 山口萌	東山地区における、ゴミの不法投棄について
7	10番議員 石垣小学校 河野稜佳	外国籍の子どもが日本語を勉強する為の教室づくり
8	12番議員 緑丘小学校 堀優香	教育についての別府市独自の取組について
9	7番議員 亀川小学校 平江天希	別府市ではごみを減らすためにどのようなことにどれくらい力をいれているか
10	11番議員 春木川小学校 松本美月	きれいな町にするためにゴミ拾いをする花や木をたくさん増やし、チューリップ祭りのようなこともできればよい
11	13番議員 大平山小学校 伊藤健太	今宮健太先輩のような地域出身の先輩方を学校のゲストティーチャーとして呼ぶような事業は予定していないか
12	15番議員 別府中央小学校 峰桃花	野口ふれあいセンターの充実
13	9番議員 朝日小学校 古賀華季	観光客中心のまちづくりだけでなく、生活する人々のためのまちづくりについて、どんなことに取り組んでいるか

14	1 番議員 境川小学校 小手川 雄 紀	お年寄りの住みよい町にするために
15	6 番議員 鶴見小学校 山 形 莉 沙	来客数を増やすための工夫について

○提言者一覧表

提言 順位	提 言 議 員	提 言 内 容
1	18番議員 浜脇中学校 國 賽 遼 河	A P Uからの国際交流
2	19番議員 東山中学校 安 部 厚 希	学校周辺の施設について
3	16番議員 山の手中学校 清 末 有 紀	学校の設備の充実について考えたい
4	17番議員 北部中学校 久知良 桃 花	温泉や地獄のことなど別府のよさを 知ってもらえること

第8回「べっぷ子ども市議会」会議録（第1号）

平成22年7月26日

○出席議員（23名）

1番議員	境川小学校	小手川	雄紀	君
2番議員	南小学校	松元	眞仁	君
3番議員	西小学校	佐藤	康義	君
4番議員	青山小学校	木崎	晴崇	君
5番議員	南立石小学校	加藤	春樹	君
6番議員	鶴見小学校	山形	莉沙	さん
7番議員	亀川小学校	平江	天希	君
8番議員	上人小学校	藤内	裕夢	君
9番議員	朝日小学校	古賀	華季	さん
10番議員	石垣小学校	河野	稜佳	さん
11番議員	春木川小学校	松本	美月	さん
12番議員	緑丘小学校	堀	優香	さん
13番議員	大平山小学校	伊藤	健太	君
14番議員	東山小学校	山口	萌	さん
15番議員	別府中央小学校	峰	桃花	さん
16番議員	山の手中学校	清末	有紀	さん
17番議員	北部中学校	久知良	桃花	さん
18番議員	浜脇中学校	國賽	遼河	君
19番議員	東山中学校	安部	厚希	君
20番議員	青山中学校	吉田	麻純	さん
21番議員	中部中学校	興田	航平	君
22番議員	鶴見台中学校	河野	幸正	君
23番議員	朝日中学校	大野	桃菜	さん

○欠席議員（なし）

○説明のための出席者

市長	浜田博君	副市長	友永哲男君
副市長	阿南俊晴君	教育長	寺岡悌二君
水道局長	亀山勇君	総務部長	中尾薫君
企画部長	梅木武君	ONSENツクリズム部長	清末広己君
建設部長	高橋邦洋君	生活環境部長	亀井京子君
福祉保健部長	藤内宣幸君	消防長	首藤忠良君
会計管理者	石井幹将君	学校教育課長	高橋祐二君

○主催者等出席者

別府市議会議長	野口哲男君
別府市議会子ども会を支える議員連盟会長	首藤正君
別府市子ども会育成会連合会会長	池辺栄治君
別府市PTA連合会事務局会長	水谷浩一君
別府市議会副議長	市原隆生君
別府市議会子ども会を支える議員連盟副会長	永井正君
別府市議会子ども会を支える議員連盟事務局長	猿渡久子君
別府市議会子ども会を支える議員連盟事務局理事	長野恭紘君

○議会事務局出席者

局長	加藤陽三	次長	小野大介
次長	花田伸一	主査	石崎聡
主任	溝部進一	主任	中村賢一郎
主任	波多野博	主任	南英子
主事	松川昌代		

○議事日程（第1号）

平成22年7月26日（月曜日） 午前9時10分開議

第1 議席の指定

第2 会議録署名議員の指名

第3 会期の決定

第4 一般質問

第5 提言

第6 子ども議員提出議案第1号「子ども宣言について」

○本日の会議に付した事件

日程第1～日程第6（議事日程に同じ）

○市議会事務局長（加藤陽三君） おはようございます。

それでは開会式をはじめる前に、子ども議員皆さんの記録用写真を議長席のほうから撮影いたしますので、子ども議員の皆さん方は、議長席の方をご覧ください。

傍聴席の皆さま並びに主催者の皆さまは、恐れ入りますが、今、しばらくお待ちくださいますようお願いいたします。

[写 真 撮 影]

ご協力ありがとうございました。

それでは、ただ今から、第8回「べっぷ子ども市議会」開会式をとり行います。

はじめに、主催者並びに関係者の皆さまをご紹介します。

浜田 博 別府市長です。

野口哲男 別府市議会議長です。

首藤 正 別府市議会子ども会を支える議員連盟会長です。

池辺栄治 別府市子ども会育成会連合会会長です。

水谷浩一 別府市PTA連合会事務局長です。

市原隆生 別府市議会副議長です。

別府市議会子ども会を支える議員連盟副会長の永井 正議員です。

同じく事務局長の猿渡久子議員です。

同じく理事の長野恭紘議員です。

以上を代表しまして、野口哲男 別府市議会議長より皆さんにご挨拶いたします。

○市議会議長（野口哲男君） 皆さんおはようございます。

本日はいよいよべっぷ子ども市議会がはじまります。この日のために皆さま方は別府市の子どもたちの代表として、皆さんの意見を集約しながらですね、この会場においでになったことと思います。私も緊張しております。普通の議会ではこんなに緊張しないんですけど、皆さんの前に立つと大変緊張しております。皆さんも緊張していることとは思いますけれども、元気に堂々と別府を思う純粋な気持ちを質問や提言で発表していただけたらよいとおもいます。今

日は私も皆さんの一般質問や提言を本当に心から楽しみにしております。私たちが行っている本会議と同じように準備もさせていただきました。そして、浜田市長や副市長、教育長、各部長さん方も皆さんの質問や提言に真剣に答えてくれるものと思っております。ぜひ本日のこの経験が皆さんの人生の中で本当に役立つようにこれからの学校生活や地域活動に生かしていただければと思っております。終わりにになりましたが、本日の子ども市議会の開催にあたり、大変ご尽力いただきました先生方、ご父兄の方々、そして市子連の皆さま方に対しまして心から感謝を申し上げまして、私のあいさつとさせていただきます。子ども議員の皆さん、本日は頑張ってください。

○市議会事務局長（加藤陽三君） それでは、以上をもちまして、開会式を終了いたします。

続きまして、子ども市議会の議長及び副議長の選出であります。あらかじめ決定しておりますので、ご紹介させていただきます。

議長は、朝日中学校3年 大野桃菜さんです。

大野さんは、議長席までお越しくください。

続きまして、副議長は鶴見台中学校2年 河野幸正君です。

河野君は副議長席までお越しくください。

それでは、議長と副議長が席に着きましたので、大野議長よろしくお願ひします。

午前9時10分 開会

○議長（大野桃菜さん） おはようございます。

先ほど、ご紹介をいただきました、議長の朝日中学校 大野桃菜と副議長の鶴見台中学校 河野幸正君です。

私たちのまち別府が希望に満ちた、住みよいまちになるように、今日の子ども市議会をがんばりたいと思いますので、子ども議員皆さんのご協力をよろしくお願ひいたします。

また、本日は、市長さん、市議会議長さんをはじめ、多くの関係者の皆さん

に、ご出席をいただきありがとうございます。

それでは、ただいまより、子ども市議会を開会いたしたいと思いますので、出席議員数の報告をお願いします。

○市議会事務局（南 英子さん） 人員のご報告を申し上げます。議員定数23名、現在員23名であります。

○議長（大野桃菜さん） 第8回べっぷ子ども市議会は、成立いたしました。

これより会議を開きます。

本日の議事は、「議事日程第1号」により行います。

日程第1により、議席の指定を行います。

議席は、議長において指定いたします。

議席番号と氏名を職員の方に読み上げていただきます。

○市議会事務局（南 英子さん） それでは、議席番号と氏名を読み上げますので、呼ばれた方は「はい」と返事をし、その場でご起立を願います。

1番議員	境川小学校	小手川 雄紀君
2番議員	南小学校	松元 眞仁君
3番議員	西小学校	佐藤 康義君
4番議員	青山小学校	木崎 晴崇君
5番議員	南立石小学校	加藤 春樹君
6番議員	鶴見小学校	山形 莉沙さん
7番議員	亀川小学校	平江 天希君
8番議員	上人小学校	藤内 裕夢君
9番議員	朝日小学校	古賀 華季さん
10番議員	石垣小学校	河野 稜佳さん
11番議員	春木川小学校	松本 美月さん
12番議員	緑丘小学校	堀 優香さん
13番議員	大平山小学校	伊藤 健太君
14番議員	東山小学校	山口 萌さん
15番議員	別府中央小学校	峰 桃花さん

16番議員 山の手中学校 清 末 有 紀 さん
17番議員 北 部 中 学 校 久知良 桃 花 さん
18番議員 浜 脇 中 学 校 國 賽 遼 河 君
19番議員 東 山 中 学 校 安 部 厚 希 君
20番議員 青 山 中 学 校 吉 田 麻 純 さん
21番議員 中 部 中 学 校 興 田 航 平 君
22番議員 鶴見台中学校 河 野 幸 正 君
23番議員 朝 日 中 学 校 大 野 桃 菜 さん

○議長（大野桃菜さん） ただいま、読み上げていただいたとおり、議席を指定いたします。

次に、日程第2により、会議録署名議員の指名を行います。会議録署名議員は、
5番 加 藤 春 樹 君
6番 山 形 莉 沙 さん

以上、2名の方をお願いいたします。

次に、日程第3により、会期の決定を議題といたします。子ども市議会の会期は本日1日といたしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（大野桃菜さん） ご異議なしと認めます。

よって、子ども市議会の会期は本日1日と決定いたしました。

次に、日程第4により、一般質問を行います。一般質問者は15名です。質問の順番により質問をお願いいたします。

最初に、4番議員、青山小学校の木崎晴崇君の一般質問をお願いいたします。

[4番議員 木崎晴崇君、登壇]

○4番議員（木崎晴崇君） 別府の海についての質問をします。

別府の海、別府湾を貝や魚が多く住む海にする活動についての質問です。

インターネットで調べてみると、別府湾の魚や貝の漁獲量が減少していること、海底に泥がたまっている汚染域が多いこと、沿岸の開発が進んで岩場や砂浜の消える割合が大きいことなどが分かりました。そのことから別府湾は、生物が住みにくくなっているのだと思います。また、別府には砂浜や岩場のある

海岸はほとんどなく、僕が知っているのは、上人ヶ浜と関の江海岸、スパビーチぐらいです。

以前、上人ヶ浜に行った時、あさり貝が1時間探しても数個しか見つからず、にいな貝なども小さいものしかいませんでした。また、潮だまりにはエビやカニがいるだけで、イソギンチャクなどの生物はあまり見られませんでした。近くにはごみも落ちていました。

そこで質問です。砂浜や岩場の海岸を増やし、そこに生き物を生息させる計画はありますか。また、海岸をきれいにする清掃活動や水質をよくする計画はありますか。僕は別府の海が貝や魚がたくさん住む楽しい海になってほしいと思います。回答をお願いします。

○議長（大野桃菜さん） ONSENツリズム部長。

○ONSENツリズム部長（清末広己君） お答えいたします。

木崎議員の「砂浜や岩場の海岸を増やし、そこに生き物を生息させる計画はあるか」という1つ目の質問ですが、現在、国が平成25年度までの完成を目指して、市内4ヶ所・約2.2kmの海岸を整備しています。

この整備が終了しますと、砂浜や岩場の海岸が増えることで水の中に住む生き物が増えることと思います。

そのほか、魚が隠れる場所や卵を産む場所を確保するためのコンクリート製のブロックや自然の石を海底に置き、魚の住みやすい岩場を作っています。これを漁礁ぎょしょうといいますが、これにより、いろいろな種類の小魚が増えることが期待されます。

次に、「海岸をきれいにする清掃活動や水質をよくする計画はあるか」という2つ目の質問ですが、清掃活動については、毎年7月の第3日曜日に、スパビーチ、上人ヶ浜海岸、関の江海岸などで、「海岸海浜清掃奉仕活動」を行っており、また5年ごとに海底の清掃も行っています。

海の水質をよくする計画はまだありませんが、別府湾全体の問題として、今後、関係する市や町と一っしょに取り組んでいきたいと考えています。

○議長（大野桃菜さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 木崎晴崇議員のご質問にお答えいたします。

木崎議員の小さな生き物に対する思いやり、さらに自然に対するやさしい気持ちはとても大切なことだと思います。

今年も、たくさんの市民ボランティアのみなさんに海岸海浜清掃奉仕活動に参加していただきました。多くのごみを回収することができています。またこれとは別に、高校生や大学生、会社の職員のみなさん、本当に多くの方々に海岸の美化活動に取り組んでいただいております、皆さんのご協力に心から感謝しています。

別府市だけで解決できることは市民の皆さんのご協力を得ながら全力で行っていきたいと思いますが、海の水質の問題は、別府湾全体、瀬戸内海全体の問題として今後、大分県、さらに関係する市や町と話をしていきたいと思っています。

貴重なご質問ありがとうございました。

○議長（大野桃菜さん） 4 番。

○4 番議員（木崎晴崇君） ありがとうございます。これで質問を終わります。

○議長（大野桃菜さん） 次に、8 番議員、上人小学校の藤内裕夢君の一般質問をお願いいたします。

[8 番議員 藤内裕夢君、登壇]

○8 番議員（藤内裕夢君） 鬼ノ岩屋古墳の宣伝について質問をします。

僕たちの通う上人小学校の近くには、鬼ノ岩屋古墳があります。中でも1号墳は学校の敷地内にあるので、上人小学校は全国でもめずらしい、古墳のある小学校です。また、鬼ノ岩屋古墳は、古墳時代後期につくられたもので、昭和32年に国の史跡に指定されている宝物です。

僕たちは、5月21日に教育委員会の先生方に案内をしていただき、中に入ることができました。中は少し暗くて怖かったのですが、岩に記号や模様が書かれていたり、悪霊あくりょうを追い払う目が作られたりしていて、とても興味がわきました。とても貴重な体験をすることができました。もっと多くの人に僕たちがした体験をしてもらいたいです。

そこで質問です。この鬼ノ岩屋古墳が地域のシンボルとして親しまれるため

に、また1人でも多くの人に見学に来てもらうために、別府市はどのような宣伝を考えているのか教えてください。

○議長（大野桃菜さん） 教育長。

○教育長（寺岡悌二君） お答えします。

今、藤内議員がいわれたとおり、上人小学校の校内には「鬼ノ岩屋1号墳」があり、すぐ近くには「鬼ノ岩屋2号墳」があります。

どちらの古墳にも、九州で有数の大きさを誇る、石を積み重ねて造られた石室という部屋があります。

古墳が造られた当時は、その部屋の内部を真っ赤に塗り、その上から白や黒などの色で様々な模様が描かれていました。地域の歴史を知るためには欠かすことのできないものとして、国から大変重要であると認められた文化財です。

藤内議員と同じように古墳の見学をしたいという申込は、毎年400名を超えており、皆さんの関心の高さに驚いているところです。

別府市教育委員会では、この重要な文化財について、もっと詳しく知るために2年前からいろいろな調査を行い、毎年、調査結果の説明会を開催しています。この説明会には、多くの方が参加されていますが、さらに多くの人に興味を持ってもらえるように努力していきたいと考えております。

○議長（大野桃菜さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 藤内裕夢議員の質問にお答えします。

鬼ノ岩屋古墳は、歴史の教科書に名前が出てくる聖徳太子が日本を住みやすい国にしようと頑張っていたような古い時代に造られた古代のお墓です。この文化財を守り、伝えていくためにも、多くの方に知ってもらい、興味を持ってもらうことはとても大切なことだと思っています。

藤内議員もご存じだと思いますが、毎年、鬼ノ岩屋の周辺に住んでいる人と別府大学が一体となり、別府市教育委員会も協力して「鬼の岩屋まつり」を開催しています。

地元の人が鬼ノ岩屋古墳を地域の誇りとして大切にしている心のあらわれであり、このような活動も国指定史跡の「鬼ノ岩屋古墳」を知ってもらうための大変良い宣伝になっていると思います。

これからも地域を想う気持ち、文化財を大切にその気持ちをぜひ持ち続けてください。

貴重なご質問ありがとうございました。

○議長（大野桃菜さん） 8番。

○8番議員（藤内裕夢君） ありがとうございます。これで質問を終わります。

○議長（大野桃菜さん） 次に、2番議員、南小学校の松元眞仁君の一般質問をお願いいたします。

[2番議員 松元眞仁君、登壇]

○2番議員（松元眞仁君） 僕は、別府の観光について質問をします。

別府は温泉の町で、観光で有名な町です。

僕の近所の小さな温泉は、肩こりによいなどの効果がありますが、あまり多くの人に知られていません。このように、まだ知られていない路地裏の小さな温泉を観光客の方にもっと紹介すると別府の魅力が発見できてよいと思います。そして、小さな温泉に入り、地域の方たちと触れ合い、親しむことで別府のあたたかさを感じてもらえると思います。

また、南小学校区の路地裏には、古い建物や昔からある店が多くあります。きっと、レトロな物が好きな人や年配の方に喜ばれると思います。南小学校区の路地裏や温泉、歴史のある浜脇の薬師祭りなどを、僕は観光客の方に、ぜひ、すすめたいと思っています。

そこで質問です。南校区の路地裏や温泉、浜脇の薬師祭りなどは、観光客の方々に宣伝されているのでしょうか。また、もっと宣伝する計画はありますか。お聞かせください。

○議長（大野桃菜さん） ONSENツリズム部長。

○ONSENツリズム部長（清末広己君） お答えいたします。

近年、浜脇薬師祭の復活など、地元の人達によるまちづくりが盛んに行われています。また、別府八湯ウォークの一つでもある「浜脇温泉・セピア色散歩」などで、観光客の方々が浜脇の昔ながらの路地裏を歩いて楽しまれています。

今、別府市内では、それぞれ皆さんが住んでいる町で、いろいろなアイディ

アによる「まちづくり」の取り組みが行われていますが、その町に住んでいる皆さんがその町を好きになり、またその町を誇りに思うことが大事です。さらに、歴史的町並みや温泉施設、お祭りなどを多くの人々に知ってもらうために、案内看板の設置や市報、別府市のホームページ、ユーチューブなどのインターネット、新聞・雑誌・ケーブルテレビ等を活用した宣伝に取り組んでいます。

今後とも多くの観光客の皆さんに訪れていただくために、より効果的な宣伝を行っていきたいと考えています。

○議長（大野桃菜さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 松本眞仁議員のご質問にお答えします。

松元議員の、自分の住む南小学校の地区にもっと多くの観光客に訪れて欲しいという熱意を、大変うれしく思うとともに、感謝を申し上げます。

別府市では、海・山・湯けむりの素晴らしい景観と日本一の温泉を生かした「住んでよし、訪れてよし」…、住んで良かったなあという町、そしてお客さまが訪れた時に心があたたかい町だなあ、また来たいねと思うような町、そういう自然環境型のローマ字のONSENツーリズムというまちづくりを今、全力投球で推進しています。

そのために、松元議員をはじめ、若いみなさん方が別府市全体はもちろんですが、まず自分たちが住む、松元議員は南・浜脇地区ですね、その愛する気持ちをずっと大切にしてください、住む人が誇りに思えるような、そういうまちづくり活動を続けていって欲しいと願っています。また、松元議員には将来、まちづくりボランティアのリーダーとなっていただいで活躍していただき、南・浜脇地区の素晴らしさを多くの人々に知ってもらう活動を行っていただきたいと思います。

今後、浜脇温泉の素晴らしさ、歴史的な町並みの保存とまちづくり活動、薬師祭りなどの行事に多くの観光客に訪れていただけるよう、取り組んでいきたいと考えています。

貴重なご質問ありがとうございました。

○議長（大野桃菜さん） 2番。

○2番議員（松本眞仁君） ありがとうございます。これで質問を終わります。

○議長（大野桃菜さん） 次に、3番議員、西小学校の佐藤康義君の一般質問をお願いいたします。

[3番議員 佐藤康義君、登壇]

○3番議員（佐藤康義君） まちづくりについて質問をします。

僕は、よく温泉に行きます。ある時、弟が滑って転びそうになったことで、温泉は小さな子どもからお年寄りまで、安全に気持ちよく入れる場所であってほしいと思うようになりました。地域の子どものやお年寄り、そして国内外から観光に来られた方など、みんなが快適に温泉を利用するためにいくつか改善してほしい事に気がつきました。

まず、誰が入っても気持ちのよい温泉にしてほしいということです。老朽化^{ろうきゅうか}は仕方ありませんが、清潔なマット、道具を使用し、掃除をきちんとしてほしいと思います。

次に、段差の大きい階段のある所やお年寄りが多く利用する温泉に、手すりやすべり止めをつけてほしいです。

最後に、これは観光にもつながると思いますが、入り方やマナーなどを日本語だけでなく、英語やハングル語、絵などで表示して、温泉に入ったことがない方にも、入り方を分かりやすくするとよいと思います。全ての市営温泉には無理かもしれませんが、駅周辺や大きな温泉など、観光客の多い所につけてほしいと思います。

別府市では、温泉に来た人が安全に気持ちよく利用するために、どのような対策を行っていますか。教えてください。

○議長（大野桃菜さん） ONSENツリズム部長。

○ONSENツリズム部長（清末広己君） お答えします。

現在、別府市が管理する市営温泉は、全部で18か所あります。その多くは、営業が終わった後の深夜や、温泉が休みの日に清掃を行っています。

佐藤議員が利用されたとき、床が滑って危険だったとのことですが、多くの市民や観光客の皆さんに気持ちよく安全に温泉を利用していただけるよう、清掃の徹底を図っていきたいと思います。

また、市営温泉の段差や階段については、市営温泉を建て替える時は、誰に

でも使いやすい設計を取り入れていますが、すべての市営温泉を一度に建て替えることはできませんので、手すりや滑り止めを新たに取り付けたり、古くなったものを取り替えたりしながら、順を追って建て替えを進めていきたいと思っています。

最後に温泉マナーの表示ですが、市営温泉には、英語・中国語・ハングル文字と絵で表示しています。しかし、市営温泉ではなく、地域で運営されている温泉の中には、外国語の表示がない温泉もありますので、今後、地域の皆さんとお話する機会があったときには、佐藤議員からいただいた表示板についてのご提案の内容を、お伝えしたいと思います。

○議長（大野桃菜さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 佐藤康義議員のご質問にお答えします。

いつも市営温泉を利用いただきありがとうございます。

実際に入浴してみて感じたことを質問していただきましたが、いま部長がお答えしましたとおり、誰が入っても気持ちよく安全な温泉になるように、しっかり努力していきたいと考えています。たしか家族でよく不老泉に入っているということをお聞きしました。まさに不老泉は滑ったり安全の面で少し考えなくちゃいけないのかなと思っておりますし、海門寺温泉がバリアフリーできれいに建て替えられましたね。そのように安全、安心のために順次、計画をして建て替えていければと思っています。

佐藤議員をはじめ、多くの子どもの皆さんに市営温泉や地域の温泉を利用いただき、地域の大人の皆さんをはじめ、観光客や外国人の方たちとも、文字どおり裸のコミュニケーションを図っていただくことが、今、別府市が進めている「ONSENツーリズム」の、ますますの発展に結びついていくものと考えています。

佐藤議員におかれましては、これからも市営温泉、地域の温泉に入って、地域や観光客の皆さんとの交流を深めるとともに、温泉の魅力をお友達にも伝えてください。

貴重なご質問ありがとうございました。

○議長（大野桃菜さん） 3番。

○3番議員（佐藤康義君） ありがとうございます。これで質問を終わります。

○議長（大野桃菜さん） 次に、5番議員、南立石小学校の加藤春樹君の一般質問をお願いいたします。

[5番議員 加藤春樹君、登壇]

○5番議員（加藤春樹君） 僕は、文化や歴史を学ぶ場所について質問をします。

僕は今、太鼓を習っています。そして、太鼓をしながら、礼儀れいぎも習っています。礼儀れいぎを習うことで、心こゝろも鍛きたえています。ですから僕は太鼓などの歴史があるものを、もっとみんなに体験してほしいと、普段から思っています。しかし、自分の周りには、そうした古い文化を学ぶ場所がありません。ぜひ、そうした場所や機会を増やしてほしいと思います。

また、別府には博物館がありません。僕は博物館に何回か行ったことがあります。博物館では、とても勉強になりました。例えば、以前、北九州にある「いのちたび博物館」に行ったことがあります。そこで、昆虫の性質や恐竜の大きさや時代の流れを知って、とてもためになりました。だからこうした博物館が近くにあったら良いのではないかと思います。別府市には古い文化を学ぶ場や、博物館のような勉強になる所はありますか。また、今後、このような所を造る計画はありますか。教えてください。

○議長（大野桃菜さん） 教育長。

○教育長（寺岡悌二君） お答えします。

加藤議員が、太鼓を学んでいること、太鼓の練習を通じて日本古来の礼儀れいぎや精神も学んでいることは、たいへん素晴らしいことだと思います。

文化や歴史を学ぶことは、「今を知る」こと、「人生を考えることを教えてくれる」ことであり、未来を予測することにもつながります。

加藤議員が言われる「文化や歴史を学ぶ場」についてですが、文化財や美術館、図書館などが考えられます。

文化財は、国指定史跡の「鬼ノ岩屋古墳」や、国の重要無形民俗文化財となっている「別府明礬温泉湯の花製造技術」、長州藩士で後の外務大臣や大蔵大臣を務めた井上馨いのうえかおるが潜伏したといわれます「千辛萬苦之場せんしんばんくのば」などがあります。

別府市美術館には、古墳などから出土した埋蔵文化財まいぞうを展示しています。ま

た、市立図書館には、貴重な古文書などを所蔵しています。

このように、別府市には文化や歴史を学ぶ場はたくさんありますが、「楽しんで、観て、学ぶ」という点では、まだまだ不十分だと思います。

今後は、あらゆる年代の人々が「楽しんで、観て、学ぶ」ことができる場所や機会を増やすことに努めたいと思います。

○議長（大野桃菜さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 加藤春樹議員の質問にお答えいたします。

加藤議員が言われるように、別府市には古い文化を学ぶ場所があまりありません。また博物館もありません。

そうしたことから、私は、市長になったときから、日本一の温泉地情報が発信できる「温泉科学博物館」の建設を目指したいということで、国などの関係機関としっかり話し合いを進めているところです。

美術館についても、市民や県民が質の高い芸術文化に触れることのできるよう、今、「県立美術館」を別府市に建設してもらえるよう、県などの関係機関に働きかけていきたいと思っています。

また、現在、野口小学校跡地は「野口ふれあい交流センター」としてオープンしていますが、今年度、校舎部分の改修を行う中で、埋蔵文化財まいぞうの展示や学習ができるよう検討していますので、楽しみにしてください。

加藤議員におかれましては、大いに文化や歴史を好きになって、楽しく学んでもらうと同時に、議員が頑張っております太鼓を通じて心身ともにたくましく成長していただきたいと願っています。

貴重なご質問ありがとうございました。

○議長（大野桃菜さん） 5番。

○5番議員（加藤春樹君） では、質問ですが、その美術館を造った時に、お客さん呼び寄せるような計画はありますか。

○議長（大野桃菜さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 大変ありがたい再質問をいただきました。美術館ができれば観光立市の別府ですから、別府に行けばこういう美術館があるよ、中も素晴らしいねと思えるような口コミで宣伝いただけるのかなと大いに別府から文化の

発信をしていきたいと思っております。よろしく申し上げます。

○議長（大野桃菜さん） 5番。

○5番議員（加藤春樹君） ありがとうございます。これで質問を終わります。

○議長（大野桃菜さん） 次に、14番議員、東山小学校の山口 萌さんの一般質問をお願いいたします。

[14番議員 山口 萌さん、登壇]

○14番議員（山口 萌さん） 私は東山地区のごみの不法投棄^{ふほうとうき}について質問をします。

東山幼稚園、小、中学校では、毎年全員が志高湖で歓迎遠足をします。そして、志高湖から学校までの帰り道で2グループに分かれてクリーングリーン作戦というごみ拾いをします。

私はその時に、毎年たくさんのごみを拾います。ごみの種類には、冷蔵庫など、子どもの力では持って帰れない粗大ごみなども捨てられています。その時、私は友達とどうしてわざわざここにごみを捨てに来るんだろうと悲しい気持ちで話しています。今年は45人の力を合わせて40リットルのポリ袋5枚分のごみが集まりました。

ごみのない東山地区にするために、私は看板を作ろうと思っています。できれば別府市も不法投棄禁止^{ふほうとうき}の看板を道路沿いに設置してもらいたいと思っています。

別府市では、ごみの不法投棄^{ふほうとうき}をなくすためにどのような対策を行っていますか。教えてください。

○議長（大野桃菜さん） 生活環境部長。

○生活環境部長（亀井京子君） お答えします。

山口議員が住んでいる東山地区に限らず、市内でのごみの不法投棄^{ふほうとうき}は後を絶たないのが現状であり、大変困っているところです。

不法投棄^{ふほうとうき}をなくすための対策としては、不法投棄禁止^{ふほうとうき}の看板や監視カメラの設置^{ふほうとうき}、不法投棄が多く発生している地域への監視パトロールを行っています。

東山地区では、平成19年度に東山小中学校の児童・生徒の皆さんに、「不法投棄禁止^{ふほうとうき}」の看板を手作りしていただき、設置しました。ご協力いただき、ありがとうございます。今年度も、新しい看板の設置を検討したいと考

えています。

これからも、自治会等に協力をお願いしたり、市報などで市民に呼びかけをしたりして、不法投棄ふほうとうきがなくなるような取組をしていきます。

○議長（大野桃菜さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 山口 萌議員のご質問にお答えします。

東山地区は、豊かな自然に恵まれた素晴らしい地域だと思います。

毎年、東山幼稚園、小学校、中学校の皆さんが、地区の環境美化のためにごみ拾いを行っている「クリーングリーン作戦」については、心からお礼を申し上げるとともに、大変嬉しく思っています。

さて、ごみの不法投棄ふほうとうきの問題ですが、環境の悪化を招く原因の一つだということは、山口議員もご承知のとおりだと思います。

ごみの不法投棄ふほうとうきをなくすことは難しいことですが、市民の皆さん一人ひとりが、むやみにごみを捨てない、というルールを守り、海、山、温泉に囲まれた美しい別府を大切に守っていく気持ちをはぐく育むことが重要です。

その気持ちを持った方々が増えれば増えるほど、ごみの不法投棄ふほうとうきは自然に減っていくと考えています。

山口議員におかれましては、今後とも、美しい東山の自然を想う気持ちを大切にしてください。

貴重なご質問ありがとうございました。

○議長（大野桃菜さん） 14番。

○14番議員（山口 萌さん） ありがとうございます。これで質問を終わります。

○議長（大野桃菜さん） 次に、10番議員、石垣小学校の河野稜佳さんの一般質問をお願いいたします。

[10番議員 河野稜佳さん、登壇]

○10番議員（河野稜佳さん） 私は別府の国際化について質問をします。

私の学校には、外国から来た友達が何人かいます。まだ、日本語が上手く話せないなので、学校の中でたくさん困ることがあります。

一番大変なのは授業中です。国語で音読をしている時は、となりの子が一緒に読んだりしますが、難しい言葉や説明があるところはなかなか分かってもら

えません。通訳さんも来てくれましたが、時間も短く、半年ぐらいですぐに来なくなってしまいます。

東京の調布市や群馬県の太田市等には、外国出身の子どもたちが日本語や日本文化を学べる教室があり、たくさんの子どもたちが学んでいると聞いています。私たちの別府市にもそのような教室があるとよいと思います。

そこで質問です。別府市には外国出身の子どもたちが多くいると聞いていますが、その子どもたちが日本語や日本文化を学べる教室はありますか。

また、そのような子どもたちが利用できる施設や工夫があれば教えてください。

○議長（大野桃菜さん） 教育長。

○教育長（寺岡悌二君） お答えします。

現在別府市には、様々な国から60人を超える外国籍の子どもたちがいますが、日本語が分からない中で日本の生活に慣れるためには、大変な苦労があることと思います。

別府市教育委員会では、いろいろな国から来た子どもたちのために、学校に慣れるまでの6ヵ月間、それぞれの言葉で通訳をしたり、相談にのったりする教育相談員を学校に派遣しています。

また、石垣小学校の校区にある中部地区公民館では、毎月第1土曜日に子どもの講座を開いています。9月まではリズムダンス、10月からはパン作りをします。他にも、授業がある日の月曜日と水曜日の放課後や、夏休み、冬休みの午前中には、放課後子ども教室を開いています。地域の大人の人たちから折り紙や手話を習ったり、勉強を教えてもらったりしながら、楽しい時間を過ごすことができます。石垣小学校の子どもたちだけでなく、他の小学校の子どもたちも参加していますので、友だちがたくさん増え、外国から来た子どもたちも、楽しく日本文化を学べ、日本語に触れる機会をもつことができると思います。

外国から来た子どもたちが早く日本の生活に慣れるために、河野議員をはじめ多くの人たちが外国から来た子どもたちの困りを理解して、進んで支えてくれることを期待しています。

○議長（大野桃菜さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 河野稜佳議員の質問にお答えします。

河野議員が、外国から来た子どもたちの困っていることを理解し、心配している優しい気持ちが伝わってきました。

先ほど教育長がお答えしましたとおり、教育相談員を派遣しています。外国から来た子どもたちの相談にのったり、地区公民館で子どもの講座を開いたりしていますが、外国から来た子どもたちが安心して勉強したり生活したりすることができるようになるためには、小・中学校で共に生活するみなさんの力がが必要です。外国から来た子どもたちが一日も早く学級に溶け込めるよう、優しさと思いやりをもって支えてくれることをお願いします。

貴重なご質問ありがとうございました。

○議長（大野桃菜さん） 10番。

○10番議員（河野稜佳さん） ありがとうございました。これで質問を終わります。

○議長（大野桃菜さん） 休憩いたします。

午前 9時55分 休憩

午前10時10分 再開

○副議長（河野幸正君） 再開いたします。

休憩前に引き続き、一般質問を行います。

○副議長（河野幸正君） 12番議員、緑丘小学校の堀 優香さんの一般質問をお願いいたします。

[12番議員 堀 優香さん、登壇]

○12番議員（堀 優香さん） 別府市の小中学校では、卒業まで同じ机とイスを使うことができます。希望者は卒業時、思い出として机の天板てんぱんを持ち帰れます。私たちは、木のぬくもりや香りなどを感じながら落ち着いた環境で勉強することができます、とても幸せです。また、物を大切に作る気持ちもできてきます。このような取り組みをしていただき、ありがとうございます。

次に、学校給食についてです。それぞれの小学校に給食室があり、栄養士こんだてさんが献立を工夫して、おいしい給食を作ってくれます。子どものリクエストを参考にして「お楽しみ給食」や季節の行事に合わせた献立こんだてを作ってくれます。

温かいおかずなど、心のこもった給食が食べられるのも、それぞれの小学校に給食室があるからだと思います。

私が、友達と助け合って勉強できたり、楽しく過ごせるのは、別府市が私たちのためにいろいろ取り組んでくださっているおかげです。他にも別府の教育の素晴らしさがきっとあると思います。他にどんなことが行われているのか教えてください。

○副議長（河野幸正君） 教育長。

○教育長（寺岡悌二君） お答えいたします。

別府市では、皆さんにより良い環境で学校生活を送っていただければ、様々な独自の取組をしています。

その一つに、学校司書があります。平成19年度から、別府市内の小・中学校の図書館に、学校司書を置くようにしてから、学校の図書館がとても使いやすい環境になっています。皆さんに、素晴らしい図書館の環境の中で、多くの本を読んで豊かな知識を身につけてほしいと思います。

また、公立幼稚園が小学校の隣にあることも別府市の特徴の一つです。そのため、幼稚園と小学校の交流が盛んに行われ、幼稚園児が入学するとき、スムーズに学校生活に溶け込んでいけるようになっています。

他にも、外国から来た子どもたちが小・中学校に入る時、言葉や生活の面で早く学校生活に慣れるために、その国の言葉を話せる教育相談員をつける取組や、授業の内容を一人一人の児童生徒にしっかりと理解してもらうために、学習支援サポーターという取組を行っています。

別府市では、これからも皆さんが、学校でしっかり学ぶことができるように、様々な取組をしていこうと考えていますので、堀議員も、友だちと助け合いながら、しっかりと学び、たくさんの力をつけてほしいと願っています。

○副議長（河野幸正君） 市長。

○市長（浜田 博君） 堀 優香議員の質問にお答えします。

堀議員が、別府市の教育の素晴らしさを感じながら、友だちと助け合って勉強したり、楽しく過ごしたりしていることを大変嬉しく思います。とりわけ木製の机とイス、県下で先駆けて別府市で揃えていただきました。また、図書館

の空調設備、また司書を独自に派遣したり、別府市では様々な独自の取組を行っています。これからも皆さんが、なお一層素晴らしい環境で学校生活が送れるように努めていきますので、堀議員も友だちと助け合い、多くのことを身につけることができるよう、自分たちでできることを精一杯取り組んでほしいと思います。

貴重なご質問ありがとうございました。

○副議長（河野幸正君） 12番。

○12番議員（堀 優香さん） ありがとうございました。これで質問を終わります。

○副議長（河野幸正君） 次に、7番議員、亀川小学校の平江天希君の一般質問をお願いいたします。

[7番議員 平江天希君、登壇]

○7番議員（平江天希君） 僕は「きれいだな」と思う別府とそうではない別府があることが気になっています。

きれいだなと思う所は、いつ行ってもごみがなくきれいな児童館やスポーツの試合やイベントがある市の体育館などです。

ところが、人があまりいない公園や、駅の中の目の届かないホームのすみやベンチの下には、ごみが捨てられています。

きれいだなと思う所は、いつも人がたくさんいる場所です。しかし、ごみが多いと感じる所は、人がほとんど通らなかつたり、人の目につきにくかつたりする場所です。

そこにごみを捨てる人は、人がほとんどいなかつたりする所ならごみを捨てていいと思っているのかと思うと心配です。

僕は、そういうごみを見かけたら拾うようにしていますが、捨てられているごみは減りません。なので、ごみを拾う活動をたくさんの人達で行えば、ごみをどこでも捨てる人も少なくなるのではないかと思います。

僕は、そういう活動をして、ごみをなくして別府市をきれいで気持ちのよい場所にしたいです。

最後に、別府市では、このようなポイ捨てされているごみをなくすためどんなことに力を入れているのか教えて下さい。

○副議長（河野幸正君） 生活環境部長。

○生活環境部長（亀井京子君） お答えします。

平江議員の言われたとおり、市内のいたるところで散乱ごみが見受けられ、大変困っているのが現状です。

別府市では、空き缶や吸い殻等の散乱防止を目的とした「別府市地域環境美化条例」を制定しており、毎年5月に「ポイ捨て禁止キャンペーン」として、民間の会社やボランティアの方々、市の職員が一丸となって、別府駅前を中心に、ごみ拾いや、ポイ捨て禁止を呼びかける活動を行っています。

今後も、市民の皆さんのご協力をいただき、別府市を、ごみのない、きれいな町にしていくよう努めていきますので、平江議員にもご協力をいただきますようお願いいたします。

○副議長（河野幸正君） 市長。

○市長（浜田 博君） 平江天希議員の質問にお答えします。

「ごみを見かけたら拾うようにしている。」という平江議員の行動は、大変素晴らしいことだと思います。心から感謝いたします。

散乱ごみの主な原因である「ポイ捨て」をなくすためには、「自分のごみは責任を持って持ち帰る。」という、一人ひとりの意識の向上が必要です。

そのため、ごみが散乱している現状や、そのごみを清掃してくださっている方がいるということ、多くの方にお知らせしていかななくてはならないと思っています。

別府市では「美しい町をつくりましょう」という市民憲章を掲げています。美しい別府市をつくるためには、平江議員のような気持ちを市民の皆さん一人ひとりに持っていただき、美化活動に協力していただくことが大切だと思っています。

これからも「別府市をきれいで気持ちのよい場所にしたい」という気持ちを大切にしてください。

貴重なご質問ありがとうございました。

○副議長（河野幸正君） 7番。

○7番議員（平江天希君） 捨てているごみやそのごみを自分で持って帰る意識を高

めるためにどんなことをしているのですか。

○副議長（河野幸正君） 市長。

○市長（浜田 博君） 再質問ありがとうございました。ごみへの意識を高めることは市民の皆さんのモラルの問題で、自分が持ってきたごみは必ず持って帰るよ
うにといろんなイベントでもお願いしています。簡単にごみ箱を置くと勝手に
よそからごみを持ってきたり、そこにごみ箱があるからと散乱するぐらいごみ
を置いて帰ってしまうからごみ箱を置かないんですね。だから皆さんが持って
きたごみは必ず持ち帰ることを一人ひとりに訴えていく、お知らせしていくと
いうことしかないと思います。平江議員もぜひそういう気持ちで皆さん方がそ
ういう気持ちになるように呼びかけてください。ありがとうございました。

○副議長（河野幸正君） 7番。

○7番議員（平江天希君） ありがとうございました。これで質問を終わります。

○副議長（河野幸正君） 次に、11番議員、春木川小学校の松本美月さんの一般質問
をお願いいたします。

[11番議員 松本美月さん、登壇]

○11番議員（松本美月さん） 私たちが通う春木川小学校では、年に1回、地域の人
たちと一緒に全校で春木川清掃をしています。春木川清掃をしたら、地域の人
たちや全校の人が笑顔になって、町もきれいになるのではないかなと思っています。

また、私たちの学級で、別府市をどんな町にしたいか話し合った時、花や木
をたくさん植えてきれいな町にしたらいいという意見が出ました。花や木をた
くさん増やして、緒方町のチューリップ祭りのようなイベントを開けば、観光
客も増えてよいのではないかという意見です。

別府市ではきれいな町にするために、どのような活動をしていますか。また、
清掃活動だけでなく、きれいな町にするために、別府市が取り組んでいること
はありますか。回答をお願いします。

○副議長（河野幸正君） 生活環境部長。

○生活環境部長（亀井京子君） お答えします。

別府市では、市民の皆さんにご協力いただき、毎年「全市一斉清掃」と「海

岸海浜清掃奉仕活動」を実施しています。

今年、6月6日に実施した「全市一斉清掃」では、124町内、12,246名の皆さんにご参加いただき、約66トンのごみを回収することができました。

7月18日に実施した「海岸海浜清掃奉仕活動」では、2,330名の皆さんにご参加いただき、約14トンのごみを回収することができました。

また、清掃活動だけでなく、松本議員の言われるような、花や木を増やす取組も行っています。温泉祭りや農林水産祭などのイベントに訪れた皆さんに、苗木や花の苗を配り、花が咲き誇り緑豊かな町になるよう努めているところです。

今後も、別府市をきれいな町にするため、いろいろな取組を行っていきたいと考えています。

○副議長（河野幸正君） 市長。

○市長（浜田 博君） 松本美月議員の質問にお答えいたします。

毎年、春木川の清掃をしていただき、ありがとうございます。皆さんの素敵な笑顔が目に見え、嬉しく思います。

また、春木川小学校の皆さんが、別府市をどんな町にしようかと真剣に話し合っていることを、大変嬉しく思います。

別府市では「きれいな町」を目指し、清掃活動はもとより、別府公園や春木川のフラワーパークを中心に、毎年、多くの花を植えています。去年は、菜の花、チューリップ、サルビア、コスモスなどを植えました。

また、毎年6月に神楽女湖で「花しょうぶ鑑賞会」を行っています。今年も、たくさんの市民や観光客の方々にお越しいただきました。

「美しい町をつくりましょう」、そして「お客さまをあたたく迎えましょう」と市民憲章に掲げているとおり、これからも、きれいで、多くの観光客の皆さんに訪れていただけるまちづくりに頑張っていきたいと思っています。

松本議員におかれましても、別府市をきれいな町にしたいという気持ちをいつまでも持ち続けてください。

貴重なご質問ありがとうございました。

○副議長（河野幸正君） 11番。

○11番議員（松本美月さん） 私はそういうチューリップ祭りのような花のイベントに行ったことがなかったので、機会があったら家の人と行ってみたいです。ありがとうございます。これで質問を終わります。

○副議長（河野幸正君） 次に、13番議員、大平山小学校の伊藤健太君の一般質問をお願いいたします。

[13番議員 伊藤健太君、登壇]

○13番議員（伊藤健太君） 大平山小学校には、スポーツ少年団野球部・サッカー部・バレー部などがあり、放課後はスポーツがさかんです。

僕は、別府大平山少年野球部に所属し、キャプテンをしています。キャプテンは大変だけど、野球部に入っていることは僕の自慢の1つです。

そして、もう1つの自慢は、今年ソフトバンク・ホークスに入団した今宮健太先輩の存在です。今宮先輩は、大平山野球部からプロ野球に入った僕たちのあこがれです。

僕は、今宮先輩と同じ「健太」という名前であることから、小さい頃から野球を教えてくれる今宮先輩をととても身近に感じていました。入団前には、僕たちにあいさつに来てくれました。今ではなかなか会えませんが、機会があったら、大平山小学校に来て、野球だけでなく、いろいろな話を聞かせてほしいと思います。

また、去年、大平山小学校出身でアマチュア相撲チャンピオンの姫野孝さんが、総合的な学習の時間に、小学校時代の夢や希望についての話をたくさん聞かせてくれました。

僕は、自分が住んでいる大平山小学校区や別府市の先輩から直接話を聞くことで、自分たちも夢をかなえることができるのではないかという思いを強く持つことができました。そして、このような機会がたくさんあってほしいと思いました。

そこで質問です。別府市には、別府市出身または別府市に住んでいる先輩が小中学校へ来て、夢や希望について話をしたり、スポーツを教えたりする取り組みはありますか。また、これからそのような取り組みの予定はありますか。

教えてください。

○副議長（河野幸正君） 教育長。

○教育長（寺岡悌二君） お答えします。

別府市教育委員会では、市内の児童生徒に本物のプレーを体験し、スポーツへの興味関心を高める目的として、昨年度からバサジィ大分、大分ヒートデビルズ、大分トリニータ、大分三好ヴァイセアドラーを招き、学校訪問をする「スーパープレイヤーわくわく授業」という取組をしています。

今年も6月にバサジィ大分と大分ヒートデビルズが朝日小学校や別府中央小学校等を訪問しています。児童生徒と共にミニゲームをして一緒に体を動かしたり、給食を食べながら、選手の今までの努力やこれからの目標を聞いたり、楽しい時間を過ごしています。授業後の児童生徒の感想として、「今までしたことのない技を教えてもらい、難しい技だけど何度も何度もくり返せばできることが分かった。バスケットやフットサルが好きになった。」といった感想があげられています。

これからも伊藤議員をはじめ、児童生徒が運動の楽しさや喜びに触れ、運動が好きになり、努力すればできるようになること等を感じることができこの「スーパープレイヤーわくわく授業」にしっかりと取り組んでいきたいと考えています。

○副議長（河野幸正君） 市長。

○市長（浜田 博君） 伊藤健太議員の質問にお答えします。

「伊藤健太」「今宮健太」、同じ「健太」というお名前の今宮選手が先輩で、小さい頃から野球を教えてもらっていたんですね。

昨年夏、甲子園での今宮選手の活躍は、別府市民に元気と勇気を与えてくれました。今でも今宮選手のはつらつとしたプレーは覚えています。

先ほど、教育長がお答えしましたとおり「スーパープレイヤーわくわく授業」で招いている4つのチームは、大分県を代表するチームであり、大分県出身者もいます。そして、一流のプレイヤーが別府市内の学校へ訪問をしていただき、児童生徒に夢と希望をあたえていただければと考えています。できれば、今宮選手はもちろんですが、別府市出身のプロ野球選手、ソフトバンクからオ

リックス・バッファローズに移った荒金久雄選手、千葉ロッテマリーンズの大塚明選手などの先輩にも学校訪問をしていただけたらと思っています。

伊藤議員も、今宮選手のような別府市の児童生徒に夢と希望を与えることのできる一流の選手になってください。応援しています。

貴重なご質問ありがとうございました。

○副議長（河野幸正君） 13番。

○13番議員（伊藤健太君） ありがとうございます。これで質問を終わります。

○副議長（河野幸正君） 次に、15番議員、別府中央小学校の峰 桃花さんの一般質問をお願いいたします。

[15番議員 峰 桃花さん、登壇]

○15番議員（峰 桃花さん） 私は野口ふれあい交流センターについて質問をします。

私たちの別府中央小学校は、野口小と北小が統合して2年がたちました。校区は2倍になり、とても広くなりました。だけど公園など、安心して遊べる場所が少なく、自分の家や友達の家の中で遊ぶ人が多くなりました。

そんな中、今年5月に「野口ふれあい交流センター」に、図書室や学習ルームができました。それから2ヶ月が過ぎ、児童会で調べてみると、半分から3分の2の人たちが遊びに行ったことがありました。運動場や遊具で遊んでいる人がほとんどでしたが、高学年になるほど図書室や学習ルームを利用することが多くなりました。図書室を利用した人から、もっと新しい本がたくさん欲しいという要望がありました。他にもパソコンが使えるようになったらいい、卓球ができたらいいなど、児童館のようなところがほしいと思っています。遊び場所の少ない校区の中で、安心して遊べる場所としての「野口ふれあい交流センター」について、今後の計画を教えてください。別府中央小学校 峰 桃花。

○副議長（河野幸正君） 教育長。

○教育長（寺岡悌二君） お答えします。

別府市教育委員会は、野口小学校の校舎や体育館、運動場を生かして、安全で安心して遊んだり学んだりできる場所にしたいと考え、「野口ふれあい交流センター」をつくりました。職員室があったところに「集会室」を作り、その上の階には「図書室」や「学習室」を新しく作りました。エアコンも設置し

ていますので、別府中央小学校の皆さんはもちろんのこと、多くの方に使って
もらいたいと思っています。

峰議員の言われたとおり、図書室の本の数は少ないので、これからもっと増
やしていく予定です。また、図書室で紙芝居や読み聞かせの会なども、開いて
いきたいと考えています。パソコンや卓球などのご提言もぜひ、参考にさせて
いただきたいと思います。

11月頃から、もう一つの校舎の工事に取り掛かります。3月には完成する
予定です。完成すれば、運動場や体育館、図書室や学習室に加え、別府市の歴
史や文化を伝えたり、絵画など個人の趣味の作品を展示する部屋、踊りやお花
のお稽古に使う和室、料理教室や会議、研修に使える部屋などがある施設にな
る予定ですので、楽しみにしててください。野口ふれあい交流センターを、
子どもから大人まで笑顔で仲良く活動できるすばらしいところにしていき
たいと思っています。

○副議長（河野幸正君） 市長。

○市長（浜田 博君） 峰 桃花議員の質問にお答えします。

峰議員やたくさんのお友達が、野口小学校跡地に造った「野口ふれあい交流
センター」に集まり実際に使っていていただいていると聞いて、大変嬉しく思いま
す。

先ほど、教育長がお答えしましたように、「野口小学校」から「野口ふれあ
い交流センター」と名前は変わりましたが、皆さんのために作った施設である
ということには変わりはありません。これからもお友だちを誘って仲良く使っ
て下さい。

それから、こんなものがあつたらいいなとか、こんなことを計画してほしい
といったアイデアがありましたら、先生を通じて教育委員会に知らせてくだ
さい。私も楽しみにしています。これからも皆さん方にとって使いやすく楽
しい場所になるようにしていきたいと思っています。

貴重なご質問ありがとうございました。

○副議長（河野幸正君） 15番。

○15番議員（峰 桃花さん） ありがとうございました。これで質問を終わります。

○副議長（河野幸正君） 次に、9番議員、朝日小学校の古賀華季さんの一般質問をお願いします。

[9番議員 古賀華季さん、登壇]

○9番議員（古賀華季さん） 別府のまちづくりについて質問をします。

有名な観光地である別府市。別府といえば「湯」、観光客でにぎわう温泉地別府です。

そのため、観光客のためのまちづくりに目が行きやすいことはよく分かります。私も「遠くに住んでいる方、外国から来た方等に、別府の良さや特徴を伝えて、別府を好きになってもらいたい」と思うからです。

ですが、まずはその地域に住んでいる人たちのための、まちづくりが大切だと思います。例えば、連休中等は、いつも車や人で混雑し、生活するのに困ることもあるからです。「地域に住んでいる人たちが住みやすく、不満を感じないようにしていることも別府の良いところであり、特徴である」というように観光客の方も気づき、その上、地域に住んでいる人も「住みよい」と感じ、観光客の方も地域の住人の方も納得できれば、とてもよい町になると思います。

別府市では、観光客だけでなく、地域に住んでいる人たちが住みやすくなるために取り組んでいることや取り組もうと計画していることはありますか。回答をお願いします。

○副議長（河野幸正君） 建設部長。

○建設部長（高橋邦洋君） お答えします。

古賀議員が言われるとおり、観光客だけでなく、地域に住んでいる人たちが住みよいと感じるまちづくりは非常に重要なことだと思います。

別府市では、地域に住んでいる人たちが住みやすくなるように、様々な事業に取り組んでいます。

例えば、別府市は、他の市に比べて、高齢者や障がい者の皆さんが多く住んでいることから、安全で安心なまちづくりを進めており、現在、亀川駅のバリアフリー化や石垣地区の歩道の整備を行っています。

また、古賀議員が言われる渋滞を解消するための道路整備については、南立石地区で現在実施しています。

さらには、別府の美しい景観、緑豊かな空間や海辺の安全と自然を保つため、景観計画を作り、その計画に基づいて公園や緑地帯を整備しています。現在は、餅ヶ浜地区の海岸線で砂浜や緑地を整備しており、8月には完成する予定です。海と触れ合うことができる憩いの空間となり、様々なイベントも開催されるようになりますので、古賀議員もぜひお出かけください。

これからも、観光客だけでなく、地域に住んでいる人たちに「住みよい」と思ってもらえる街づくりを進めていきたいと考えています。

○副議長（河野幸正君） 市長。

○市長（浜田 博君） 古賀華季議員の質問にお答えします。

古賀議員が言われるように、その地域に住んでいる人が「住みよい」と感じ、幸せで安心な気持ちになることはとても大切なことだと思います。そして、その幸せで安心な気持ちが、お客さまが来た時に、あたたかく迎える気持ちに繋がっていくと考えています。

私自身も、「住んでよし、訪れてよしのまちづくり」というまちづくり、ONSENツーリズムのまちづくりという言葉を使って、市民のみなさんや市の職員と一緒にそういうまちづくりを進めています。なぜなら、そこに住んでいる人が、暮らしやすいなあと思う街、そこに住む人がここは住んでよかったなあと思う街、みなさんがこの学校で学んで良かったなあという学校、そして地域の皆さんにいつも安心して、安心安全でパトロールで守っていただいている地域のおじちゃん、おばちゃんに「ありがとう」と言える街、そういうまちづくりをしっかり進めなくてはいけないと思っています。まず、自分たちが暮らしやすい良い街と思わなければ、訪れた人もきっと良い街であると思わないと思いますから。

私自身も古賀議員と同じ鉄輪地区に住んでいます。この連休は大変な渋滞でした。そういう中で道路が渋滞して困った経験はあります。そんな時は「たくさんの方が別府に来てくれているんだ。」と嬉しい気持ちとともに、「慣れない道で渋滞してみなさんに申し訳ないな。」と思ったりもします。

古賀議員におかれましては、これからも、その優しい気持ちを持ち続けて、お客様をあたたかくお迎えしていただきたいと思っています。

貴重なご質問ありがとうございました。

○副議長（河野幸正君） 9番。

○9番議員（古賀華季さん） ありがとうございます。これで質問を終わります。

○副議長（河野幸正君） 次に、1番議員、境川小学校の小手川雄紀君の一般質問をお願いいたします。

[1番議員 小手川雄紀君、登壇]

○1番議員（小手川雄紀君） ぼくは、お年寄りが住みよい町にするために、別府市のバスの料金について質問をします。

別府市は、福岡市等の他の市に比べて、バスの本数が少なく、料金が高いと思います。今、バスの乗客は、通院や毎日の買い物に利用するお年寄りが多いように感じます。お年寄りのためにも、バスの料金が安くなるとよいと思います。

そこで、ぼくは、ワンコインサービスがよいと考えました。大分市では70歳以上のお年寄りに、バスの料金をその区間によって、100円、200円、300円にするというサービスをしているそうです。よくバスを利用しているお年寄りが、安心して快適に乗られるように、このようなサービスを別府市でも行うといいなと思いました。

そこで質問をします。現在、別府市はバスのワンコインサービスについてどのように考えていますか。また、今後、別府市で行う予定はありますか。

以上、回答をお願いします。

○副議長（河野幸正君） 福祉保健部長。

○福祉保健部長（藤内宣幸君） お答えいたします。

ワンコインバスのサービスについてですが、まず、別府市内にあるバス会社に協力していただくことが必要です。また、JRやタクシーの利用にも影響が出るとおられますので、それぞれの会社との話し合いも必要になると思います。

ワンコインバスを運行すれば、料金が安くなるため、バス会社は利益をあげることが難しくなります。そうすると、別府市からバス会社にお金を払って、ワンコインバスを運行する応援をしなくてはなりません。

小手川議員もご存じのとおり、現在、大分市はワンコインバスを運行してい

ますが、そして大分市からバス会社に支払うお金が年々増えてきていると聞いています。

これから、ますます高齢者の人口は増えると予想されますので、各地域の交通状況や、別府市の財政の面など、いろいろな視点から考えたいと思います。

○副議長（河野幸正君） 市長。

○市長（浜田 博君） 小手川雄紀議員のご質問にお答えします。

車の運転ができなくなった高齢者の方々が、日常生活の買い物などの交通手段としてワンコインバスを利用できるようになれば、大変便利だと思います。

先ほど部長がお答えしたように、ワンコインバスを導入するにあたっては、利益があがらなくなった分のお金を別府市からバス会社に払わなければなりません。さらに運行する地域、回数、時間帯や利用者数など、いろいろな面から考える必要があります。

別府市の財政も厳しい中ですが、見直すべきところは見直して、本当に必要な事業の実現に向けて、工夫をこらしながらしっかりと検討をしたいと考えています。

小手川議員の高齢者の皆さんを常に気にかけて、大切に想う気持ち、本当に伝わってまいりました。大変嬉しく思います。私も、常にその気持ちを忘れずに高齢者の皆さんが住みやすいまちづくりに取り組んでいきます。

貴重なご質問ありがとうございました。

○副議長（河野幸正君） 1 番。

○1 番議員（小手川雄紀君） ありがとうございました。これで質問を終わります。

○副議長（河野幸正君） 次に、6 番議員、鶴見小学校の山形莉沙さんの一般質問をお願いいたします。

[6 番議員 山形莉沙さん、登壇]

○6 番議員（山形莉沙さん） 来客数を増やすための工夫について質問をします。

先日、私は長崎へ修学旅行に行ってきました。長崎の大浦天主堂では、今、ドラマで話題になっている坂本龍馬のグッズを販売して多くのお客さんをお呼びしていました。

私たちが住む別府市も、世界的に有名な温泉の観光地で、私の自慢でもあり

ます。ですが、実際に別府の良さをもっと多くの人に知ってもらい、もっと多くの観光客の人に来てもらいたいと思っています。

そこで、別府市の姉妹都市について調べたところ、静岡県の熱海市、イギリスのバース市、韓国の木浦市、ニュージーランドのロトルア市、そしてアメリカのボーマントン市がそうだと知りました。

別府市は、花火ファンタジアや温泉祭りなどのイベントを多く行っていますが、私はこれらの姉妹都市とのイベントを行う機会を増やしたり、学校同士で交流したりすると、別府市の事をもっと知ってもらえるのではないかと考えました。

そこで質問です。別府市ではもっと多くの観光客に来てもらうためにどのような事を行っていますか。また、これからどのような事をしようと計画していますか。

○副議長（河野幸正君） ONSENツリズム部長。

○ONSENツリズム部長（清末広己君） お答えします。

別府市は、いろいろな方法でたくさんの観光客の皆さんに来ていただくために、観光情報を発信しています。

例えば、ご夫婦で別府にもう一度旅行に来ていただく「リバイバル新婚旅行」を企画したり、べっぷアリーナなどのスポーツ施設で、プロスポーツクラブのキャンプや大学のクラブの合宿の誘致、また、ビーコンプラザでは水サミットやAPECなどの国際会議等で使ってもらえるように、誘致、宣伝を実施しています。

また、今月から、インターネットの動画サイト「ユーチューブ」を使い、別府市の観光についてのいろいろな情報を発信しています。

ほかにも今年度の新しい取り組みとして、別府市だけでなく、中津市や宇佐市、豊後高田市、杵築市などといっしょに、広いエリアでの観光宣伝に取り組んでいます。

さらに、「別府とり天」と「別府冷麺」のキャンペーンのほか、別府独自の地獄蒸し料理が体験できる「地獄蒸し工房鉄輪」をオープンし、地元の食べ物を活かした観光を推進しています。

これからも多くの観光客に来ていただけるよう努力していきます。

○副議長（河野幸正君） 市長。

○市長（浜田 博君） 山形莉沙議員のご質問にお答えします。

最近では、国内からだけでなく海外からも観光客に来ていただけるような活動を積極的に行っており、海外からのお客さまは今、年間約25万人、別府市に来ていただいています。

姉妹都市交流についても、これからさらに人と人との交流、文化交流を含めて深めていきたいと思っています。

また先日、中国上海万博の日本館の中で別府市の観光宣伝を行ってまいりました。ちょっと感想を申し上げますが、日本館は大人気で、長い行列ができて6時間待ちというくらい大変な人気でした。その中で別府市が別府ウィークということで1週間宣伝の機会を観光庁から与えていただきました。その中で最初の3日間、私も舞台に上がって宣伝をしてきました。浴衣に着替えて浴衣ショーをしたんですが、私の横にはAPU、別府大学を卒業した上海出身の卒業生の皆さんがみんな浴衣に着替えて、一緒に舞台上で別府の宣伝をしていただいたんです。別府の4年間の学校生活が本当に素晴らしかったと、そのことを上海語で会場の皆さんに宣伝するわけですから、これほどの宣伝はないと思います。「第2のふるさと」です。私たちは別府で4年間大学生活をしてこんなに楽しかった。温泉が日本一なんですよということをしっかり宣伝をしていただきました。会場からは大拍手と写真撮影の申し込みが殺到して大人気でした。今、中国のお客さんは日本に何を求めているかというところ、第1位はショッピングなんです。日本製品は素晴らしいから買い物に行きたい、そして第2位は何だと思いますか。温泉なんです。全国の温泉所在都市が86くらいありますが、その代表が別府温泉なんです。この別府温泉をしっかり宣伝できたことによって、これから中国からのお客さんがどんどん日本に来るのではないかと考えています。今後、中国・韓国を中心に海外からの観光客がますます増加していくことを願っています。

そして大事なことは、来ていただいたお客さまを温かいおもてなしでお迎えするという皆さん方の心が大切だと思います。私たち市民一人一人の意識が高

くなればなるほど、たくさんのお客さまに、心があつたかい街だったなあ、もう1度来てみたい、もう1度別府に行くよ、そういうふうに思えるような街にしていきたいと思います。

山形議員のように別府を想う熱い気持ちがあれば、お客様はきっと増えてくると思います。その思いを今後とも大切に持ち続けてください。

貴重なご質問ありがとうございました。

○副議長（河野幸正君） 6番。

○6番議員（山形莉沙さん） ありがとうございました。これで私の質問を終わります。

○副議長（河野幸正君） これをもって一般質問を終結いたします。

休憩いたします。

午前10時55分 休憩

午前11時10分 再開

○議長（大野桃菜さん） 再開いたします。

日程第5により、提言の発表を行います。提言者は4名です。提言の順番により、提言を行います。

○議長（大野桃菜さん） 最初に、18番議員、浜脇中学校の國賽遼河君に提言の発表をお願いいたします。

[18番議員 國賽遼河君、登壇]

○18番議員（國賽遼河君） 国際化について提言をします。

私たちが住む別府にはAPUという国際的な大学があり、県内でも特に外国人留学生が多いので、僕も町の中でよく留学生の方とすれ違います。浜脇中学校でも3月に留学生の方が来られ、自分の国のことを説明してくれました。色々な国の方と出会うことができるので、私はこれは良いことだと思いました。

せっかくこれだけ多くの留学生の方が来られていますので、たとえば、私たち中学生が、別府温泉まつりのステージでAPUの方と一緒に踊る機会を持ったり、別府の伝統工芸竹細工と一緒に作ったりする活動をすれば、さらに交流が深まり私たちも勉強になると思います。

また、観光地として有名な別府八湯をAPUの留学生と別府市民が一体とな

って、他県や他国へアピールすれば、もっと多くの人々が別府のことを知ることになり、別府市の活性化にもつながります。

このように別府市民と留学生と一緒に活動することで、別府市民と留学生の交流が深まるだけでなく、留学生が別府市の文化や芸術を多く学ぶことになります。そして留学生が故郷に帰った時、別府が第2のふるさとになるととてもすばらしいと思います。

そんなまちづくりをぜひ進めていただきたいと思います。

これで提言を終わります。

○議長（大野桃菜さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 國賽遼河議員のご提言に、お答えします。

留学生と市民との触れ合い、また留学生と市民がいっしょに別府の宣伝活動を行うなど、様々な体験を通じて交流を深めるということはとても素晴らしいことだと思います。

別府市で現在行っている国際交流としては、市内の小中学校に留学生が先生として訪問していただいて、自分の国の紹介や別府の感想などを楽しく話して、お互いの文化の違いなどを学び合う「国際理解教室」の開催をしています。その他にも、「別府八湯温泉まつり」や「夏の宵まつり」、さらには「泉都大祭」、こういういろいろなイベントに多くの留学生の皆さんが参加しております。昨日、行われた納涼音頭大会にも留学生のみなさんが約70人くらい、別府音頭とかヤッチキを私たちと一緒に踊ってました。本当に微笑ましいし、嬉しかったですね。

今年、別府市は人口に占める留学生の割合が東京を抜いて日本一になりました。現在、98の国と地域から約3500人を超える留学生のみなさんが別府で勉強して生活をしていただいています。そして先ほどもありましたように、別府での生活は楽しかった、別府を「第2のふるさと」にしますと思って来ています。

今後も別府を「第2のふるさと」と思う留学生を増やすために、引き続き留学生が安心して住める町づくりと、多くの別府市民との交流を深めるまちづくりを推進するために頑張っていきたいと思います。

貴重なご提言ありがとうございました。

○議長（大野桃菜さん） 次に、19番議員、東山中学校の安部厚希君に提言の発表をお願いいたします。

[19番議員 安部厚希君、登壇]

○19番議員（安部厚希君） 学校周辺の施設について提言をします。

東山中学校は周りを自然に囲まれた、自然豊かな学校です。近くには志高湖があり、その近くに「おじか」という少年自然の施設があります。そのおじかに行ったときですが、星がとても綺麗きれいに見えたので、プラネタリウムを建設するともっと近くで星を見ることができます。おじかは他県でも珍しい施設なのでプラネタリウムを建設すると、星を見るのを目当てにたくさんの人々が訪れ、町おこしにもつながると思います。プラネタリウムがあると雨が降ったときにも星を見られ、どの季節の星座も見られます。また、ギリシア神話も聞けるようにナレーターをつけても良いと思います。ナレーターは機械のほうが効率よく進められると思います。星がとても綺麗きれいに見える別府だからこそ、プラネタリウムを建設し、星にあまり興味がない人にも楽しんでもらいたいです。そして図書館や公園などの公共施設がもっと増えていくと、別府市が良い町になっていくと思います。

これで提言を終わります。

○議長（大野桃菜さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 安部厚希議員のご提言にお答えします。

少年自然の家「おじか」、その周辺には、小鹿山おじかやま、神楽女湖かぐらめこ、志高湖、鶴見岳、由布川峡谷など奥別府を代表する景色のよい場所があります。このような素晴らしい自然の中で行う様々な活動は、利用者にとっても喜ばれています。

安部議員の「星が綺麗に見える別府」という発想や、自分が住む町の良いところに目をつけ、地域資源を思い活用する気持ちをととても嬉しく、頼もしく感じました。

現在、別府市は地域資源の自然と温泉を活かした「ONSENツーリズム」を通して、住む人が豊かに、そして訪れる人に感動を与える「住んでよし、訪れてよしのまちづくり」を推進しているところです。

別府市には、煙突の排出ガスや工場排水を出すような工場がありませんし、そのような企業が来たいと言っても、自然を守り続けるために、これまでお断りしてきました。そのため、澄んだ空気の中で星空が楽しめ、自然体験をする場所に恵まれていると思っています。

プラネタリウムの建設は、別府の自然をさらに楽しむため、大変夢のあるご提言ですので、図書館や公園などの公共施設、学校などの教育施設の整備なども含めた、別府市全体の中で検討をしていきます。

貴重なご提言ありがとうございました。

○議長（大野桃菜さん） 次に、16番議員、山の手中学校の清末有紀さんに提言の発表をお願いいたします。

[16番議員 清末有紀さん、登壇]

○16番議員（清末有紀さん） 学校の設備の充実について提言をします。

山の手中学校は、昭和30年代から40年代に新校舎が建てられ、これまでに数回改修工事などが行われてきました。しかし「廊下が暗い」「夏はとても暑い」といった不満も出ています。私たち生徒会では与えられた環境を自分たちの手で少しでも過ごしやすくしていくために美化活動をしています。しかし、設備がもっと今の時代に合ったものになると学校生活はさらに充実するだろうと思います。

私たちはどんな設備があるといいかを考えました。1人で集中して学習ができる「自習ルーム」や、落ち込んだときに静かに過ごして気持ちを立て直すことができる「リフレッシュルーム」があるといいなと思います。また他県の小中学校の設備について調べてみて、太陽光発電のパネルを設置しているところがあることを知りました。環境に優しい校舎があるなんて素晴らしいです。

今後、校舎の改修工事など別府市の小中学校の設備について考える機会がある時は、ぜひ私たち生徒の意見も聞いていただいて、一部でも取り入れていただきたいと思います。きっと充実した学校生活を送るための意見が出せると思います。

これで提言を終わります。

○議長（大野桃菜さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 清末有紀議員のご提言にお答えいたします。

清末議員の「自習ルーム」「リフレッシュルーム」などのご提言は、とても素晴らしいアイデアだと思います。学校環境を生徒会が中心となって少しでも過ごしやすくするよう取り組んだり、他県の小中学校の設備について調べたりしていることに、とても感心しました。

別府市では「環境に優しい学校」を目指して、小学校の運動場に芝生をはったり、南小学校では太陽光発電パネルを校舎の屋上に設置をしました。いろいろな方法を試みています。

今後の校舎改築の際には、生徒の皆さんのご意見をしっかりと受け止めて、それを大切に、安全で安心して学べる学校、環境に優しい学校を目指していきます。

貴重なご提言ありがとうございました。

○議長（大野桃菜さん） 次に、17番議員、北部中学校の久知良桃花さんに提言の発表をお願いいたします。

[17番議員 久知良桃花さん、登壇]

○17番議員（久知良桃花さん） 私たちの住んでいる別府市には、温泉や地獄など世界に誇れる観光スポットがあります。私の通っている北部中学校の校区内にも血の池地獄や竜巻地獄、別府八湯の1つである浜田温泉などがあり、小さい時から身近に感じていました。

しかし、よく考えると、私は身近なのに温泉や地獄に行ったことがありません。温泉は自分の家でも入れるし、地獄は近くにあるからこそ貴重さや珍しさを感じないからです。きっと私のような人が多いのではないかと思います。

別府の良さをたくさんの人に知ってもらい、たくさん観光客が来て、別府がにぎやかになるには、まずは別府市民である私たちがしっかりと知り、感じる事が大切だとおもいます。そのために各観光スポットに別府市民でも行きやすい工夫をしてほしいとおもいます。例えば、各地獄や温泉のマスコットキャラクターを作って、親しみやすくしたり、別府八湯や地獄を全部回ると何かをプレゼントしたりすると、お客さんも楽しく観光できて良いと思います。よろしくお願ひします。

これで提言を終わります。

○議長（大野桃菜さん） 市長。

○市長（浜田 博君） 久知良桃花議員のご提言にお答えします。

久知良議員がお住まいの北部中学校の校区内には、亀川の浜田温泉、柴石温泉、竜巻地獄、血の池地獄などがあり、別府市の観光地の中でも中心となるような地域であるといえます。これらの魅力を住んでいる私たちが実感することは、とても大事なことなんです。

現在、別府市では、別府温泉を再発見し、温泉の魅力を楽しんでいただく企画として、別府八湯温泉道を行っています。

別府八湯温泉道とは、別府市内の温泉をめぐるスタンプラリーで、そのうちの88か所をめぐり終わると温泉道名人に認定をします。

現在、10年目を迎え、全国で約2,500人の温泉道名人が誕生しています。温泉まつりには全国からそういう皆さんが集まってきます。初段から温泉道名人まで段位が上がるごとに認定タオルなどを贈っておりますが、参加者の皆さんには大変喜んでいただいています。

先ほど、久知良議員が提言してくださった工夫の内容も参考にさせていただき、これからも、観光客の皆さんにも、市民の皆さんにも、楽しんでいただける観光施設づくりに努めたいと思います。

貴重なご提言ありがとうございました。

○議長（大野桃菜さん） 以上で、提言を終結いたします。

次に、日程第6「子ども議員提出議案第1号 子ども宣言について」を議題といたします。

提出者の21番議員、中部中学校の興田航平君から、提案理由の説明をお願いいたします。

[21番議員 興田航平君、登壇]

○21番議員（興田航平君） 子ども議員提出議案第1号は、お手元に配付しております宣言書を読み上げて、提案理由の説明にかえさせていただきます。

「別府と私たち」

子ども宣言

私達は、日本有数の温泉地「別府」で今日まで過ごしてきました。その中でたくさんのお話を学び、経験しました。そして今日、この子ども市議会を通して別府についてもっと深く考えることができました。

別府市は山と海に囲まれ、豊富な温泉や、伝統工芸竹細工、湯けむりなどの美しい景観もあります。さらに、別府市民や別府に住んでいる外国の人たち皆が別府を愛しています。

私達が大人になって、社会に出たときも別府市で過ごせて幸せだと思えるように、次のことを誓います。

1 別府市に住む外国の人たちとの文化の違いを理解し合い、協力して、さらに過ごしやすい別府にします。

2 観光客のみなさまが、また来てくださるように、温かくお迎えし、気持ちよくお送りします。

3 別府で過ごしてきたことに誇りを持ち、充実した毎日を過ごします。

以上のことを宣言いたします。

平成22年7月26日

べっぷ子ども市議会

なにとぞ、議員、皆様のご賛同をよろしくお願い申し上げます。

○議長（大野桃菜さん） ただいま提案されました「子ども議員提出議案第1号子ども宣言について」に、賛成の皆さんの起立をお願いいたします。

[賛成者起立]

○議長（大野桃菜さん） 起立全員です。

よって、「子ども議員提出議案第1号 子ども宣言について」は、全員一致をもって原案のとおり可決されました。ご着席ください。

以上で、議事のすべてを終了いたしました。

これをもって、第8回「べっぷ子ども市議会」を閉会いたしますがご異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（大野桃菜さん） ご異議なしと認めます。

よって以上で、第8回「べっぷ子ども市議会」を閉会いたします
お疲れさまでした。

午前11時30分 閉会

[閉 会 式]

○市議会事務局（南 英子さん） 皆さまお疲れさまでした。

それでは、議長、副議長は議員席へお戻りください。

ただいまから、第8回「べっぷ子ども市議会」の閉会式を行います。

浜田博市長より、ごあいさつを申し上げます。

○別府市長（浜田 博君） みなさん、きょうは本当にお疲れさまでした。

小学生と中学生による「べっぷ子ども市議会」、今年で第8回目となりまして、すっかり定着して恒例となりました。

ちょうど私が市長に就任した時にこの子ども市議会をはじめさせていただいて8回目になるわけです。たしか3回目のときでしたか全国の子ども会新聞にこの様子が載りました。小学生と中学生の合同ということは本当に珍しい、そしてこれはモデルになるよということで、素晴らしい議会だということで全国に紹介していただいたことを今、思い出しました。

また、今日は私自身が大変勉強させていただきました。皆さん方がいろんな部門でしっかり勉強しているなという思いをいたしましたし、皆さんの観察力の鋭い質問、そして素晴らしい内容の提言、さらには別府市発展に向けて、皆さんの心のこもった「別府と私たち」という子ども宣言をいただきました。本当に大変感動しました。ありがとうございました。

21世紀のまちづくりの主役は、まさにここにいる皆さん方です。余談になると思いますが、今、皆さんは12歳から15歳ですか、あと10年もすると被選挙権、市議会議員に立候補できる歳になります。その時にぜひ、子ども市議会では私は浜田市長にこういう質問をして追及したんだが、10年経った今、何もできていないじゃないかと、厳しくその時の市長にお叱りをいただければと思います。もうその時はですね、ここにおられる皆さん方はほとんど…いやいる方もいますが、いないのではないかと思います。

[議場内笑い声]

しかし、行政は継続ですから。今日、私がお答えしたこと、部長がお答えしたことは嘘を言ったわけではありません、本当のことですから、しっかりと真剣に取り

組んでいきたいと思ひますし、執行部が一生懸命、これから取り組んでいきますから、その時には厳しいご指摘もいただけますとありがたいなと思ひています。

今日の子ども市議会に出席した貴重な体験をこれからも勉強に生かして、一回りも二回りも大きくなっていただきたいと思ひます。皆さんの成長を心から期待をしております。

そして、今日、傍聴いただきました保護者の皆さん、そして学校の先生方、本当にご指導ありがとうございます。この子どもたちの思い、これをしっかりと見守っていただきまして、皆さんが今、大人の立場でぜひ、私たちと一緒にこの別府市をどう発展させたらいいのか、このことを真剣に考えていただきご支援とご指導を賜りますよう、心からお願いを申しあげたいと思ひます。

終わりになりましたが、第8回のべっぷ子ども市議会の開催にご尽力をいただきました別府市子ども会育成会連合会、そして別府市PTA連合会の皆さま方、保護者の方々と先生方、そして別府市議会子ども会を支える議員連盟の皆さま方に心から感謝を申し上げたいと思ひます。本当にありがとうございます。以上で私の話を終わります。皆さんおつかれさまでした。ありがとうございます。

○市議会事務局（南 英子さん） 続きまして、寺岡悌二教育長より、本日頑張っていたいただきました子ども議員の皆さん方に、記念品を贈呈いたします。

代表 青山中学校2年 吉田麻純さん。

[20番議員 吉田麻純さん、議場中央フロアに立つ]

○教育長（寺岡悌二君） 緊張な中にも集中して、本当に輝いていました。どうかこの議会をふまえて、21世紀を担う立派な人間になることを期待しております。第8回べっぷ子ども市議会の子ども議員のみなさんに記念品を贈呈します。

[教育長より記念品贈呈]（拍手）

○市議会事務局（南 英子さん） ここで、子ども議員を代表して、吉田麻純さんからお礼の言葉があります。

子ども議員、執行部並びに主催者の皆さま方は、ご起立願ひます。

[全 員 起 立]

○子ども議員代表（吉田麻純さん） 本日の子ども市議会では、私と同世代のみなさんが別府の将来をどのように考えているかがよく分かり、感心するとともによい勉強に

なりました。また、質問や提言に対して、ていねいに答えてくださった別府市長ほか、別府市役所の皆さん、本当にありがとうございました。

私には将来の夢があります。小さな子どもが好きなので、保育士さんになりたいと考えています。先日、大分県の人口が11年連続自然減であるというニュースを目にしました。長く続く不況で結婚が遅れることと、子どもを育てる環境が整っていないことなどが原因であると伝えていました。子ども市議会に参加して、私が別府市で保育士になることで、少しでも別府市が元気になればと考えるきっかけになりました。

私も夢に向かって頑張ります。市長さん、別府市役所の皆さん、そして市議の皆さんもお身体に気をつけながら、別府市のために頑張ってください。

本日は本当にありがとうございました。

(拍手)

○市議会事務局（南 英子さん） それでは、皆さまご着席ください。

[全 員 着 席]

○市議会事務局（南 英子さん） 以上をもちまして、第8回「べっぷ子ども市議会」閉会式を終了いたします。

「別府と私たち」 子ども宣言

私達は、日本有数の温泉地「別府」で今日まで過ごしてきました。その中でたくさんの事を学び、経験しました。そして今日、この子ども市議会を通して別府についてもっと深く考えることができました。

別府市は山と海に囲まれ、豊富な温泉や、伝統工芸竹細工、湯けむりなどの美しい景観もあります。さらに、別府市民や別府に住んでいる外国の人たち皆が別府を愛しています。

私達が大人になって、社会に出たときも別府市で過ごせて幸せだと思えるように、次のことを誓います。

- 1 別府市に住む外国の人たちとの文化の違いを理解し合い、協力して、さらに過ごしやすい別府にします。
- 2 観光客のみなさまが、また来てくださるように、温かくお迎えし、気持ちよくお送りします。
- 3 別府で過ごしてきたことに誇りを持ち、充実した毎日を過ごします。

以上のことを宣言いたします。

平成22年7月26日

べっぴ子ども市議会

この会議録の内容が間違いないことを確認し
署名します。

平成22年7月26日

べっぷ子ども市議会

議長

大野 桃菜

副議長

河野 幸正

会議録署名議員

加藤 春樹

会議録署名議員

山形 莉沙



別府市議会子ども会を
支える議員連盟 会長

首藤 正

「第8回べっぷ子ども市議会」いかがでしたでしょうか。子どもたちの純粋で鋭い質問や提言に、今回も非常に感心いたしました。

やがて来るこの子どもたちの未来を、子どもたち自身のしっかりした目線で、より良い未来にするために私どもができることは、この社会の中で、今、私たちが行っていることを実践的に教えていくことだと思います。そのための子ども市議会であることを願っております。

今後とも、この活動を継続しながら、別府の子どもたちの成長を見守り続けていく所存でありますので、ご家族の皆様、先生方、PTAの皆様、そして市子連の皆様、なお一層の温かいご支援をお願いいたします。



別府市教育長

寺岡 悌二

「第8回べっぷ子ども市議会」では、「子どもからお年寄りまで安全に利用できる温泉施設」「お年寄りのためのワンコインバスの導入」などの優しい心遣いや、「ゴミのポイ捨てや不法投棄をなくす取組」「鬼の岩屋古墳や薬師祭り等の宣伝」などの、ふるさと別府を愛する気持ちが込められた子どもたちの発言がたくさんありました。

また、学校における諸活動から生まれた切実な願いに対して、自分たちでできることをしっかり努力していこうという強い意志が子どもたちの発言や態度から伝わり、将来の別府市を担う子どもたちとして大変頼もしく感じました。ご指導いただいた先生方に厚くお礼申し上げます。

教育委員会といたしましても、子どもたちの純粋で真摯な願いが活かされるよう、今後も努力してまいります。



別府市子ども会
育成会連合会 会長

池辺 栄浩

第8回べっぷ子ども市議会は、今年も大きな成果で終えることができました。

各小中学校の代表23名の皆さんの本気で輝いた眼差し、素直な心で別府への思いを込めた立派な質疑と提言、嬉しく感動しました。今回のこの体験が一生の思い出と自信になり、各々の夢と希望に向かって更に頑張ってください。皆さんの努力と辛抱は幸せになるための準備運動ということをお忘れなくください。

さて、別府市子連は、今年で設立50周年を迎えました。これからも、健全育成を目指し、学校外の社会体験の場の提供と、子どもを取り巻く環境の整備を行います。今後とも温かいご指導とご支援をお願いいたします。最後に、開催にあたり、関係各位のご尽力に心より感謝申し上げます。



別府市PTA連合会
会長

後藤 智

第8回べっぷ子ども市議会に参加の機会を与えられたことに心より感謝いたします。議会で子どもたちが、自らの体験や学習で得たことをもとに、故郷別府の課題について、熱い思いをいきいきと質問・提言する姿に頼もしさを覚えました。そして、市長や執行部の方が丁寧に答弁する姿に感銘を受けました。子どもにとって、この体験はかけがえのないものとなり、よい思い出となったことでしょう。

別府市PTA連合会では、子どもに別府市の歴史や文化を正しく伝承する機会をつくり、別府への熱い思いの目を育む支援に努めてまいります。別府市の未来を築く子どもたちにご支援をお願い申し上げます。

終わりに、多くの方のご尽力で第8回べっぷ子ども市議会が開催されましたことに心から感謝申し上げます。